

## 第34回全国保健師長会代議員総会議事録

平成24年11月24日、全国から代議員136名が参集し、金沢歌劇座において第34回全国保健師長会代議員総会が開催されたので概要を報告する。

### ◆会長挨拶要旨

国の動向を踏まえて「新しいニーズに対応した保健師活動の確立」をテーマに、災害時保健活動の取り組み強化・市町村会員の拡大・中堅期保健師人材育成の取り組み等を重点目標に活動していくことが表明された。

### ◆来賓祝辞

厚生労働省健康局長代理尾田進保健指導室長をはじめ、石川県知事代理三宅邦明健康福祉部長、金沢市山野之義市長、全国保健所長会佐々木隆一郎会長、日本看護協会代理中板育美常任理事、国立保健医療科学院福島富士子統括研究官から、東日本大震災に関わる保健師活動への評価と今後の活動に対する期待の言葉をいただいた。

### ◆基調講演

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課保健指導室長尾田進氏から「地域保健をめぐる国の動向とリーダーに期待すること」と題して講演をいただいた。

今後の地域保健対策では、地域保健の役割として、ソーシャルキャピタルの活用や学校、企業等との積極的連携がより重要となっており、保健師の専門性を生かした活動が求められていることが示唆された。地域における保健師の保健活動指針等の見直しについては、現場の保健師に活用される指針とすべく検討会で議論がなされており、年度内の通知を目指していることが話された。また、保健師の新たな活動領域として生活支援戦略が紹介され、生活保護受給者の健康管理面で専門職としての保健師の活躍に対し期待が寄せられた。平成6年以降自治体職員が15%削減される中、自治体保健師は1.5倍に増加しており、介護・福祉分野はもとより、各自治体の本庁での配置人数が微増傾向にあること等、地方分権の進展等により保健師の役割も変化・拡大しており、地域住民の福利向上のため、積極的にリーダーシップを果たしてほしいとのエールをいただいた。

### ◆特別講演

一般社団法人日本尊厳死協会理事長の岩尾總一郎氏から「社会のグローバルな変化の中で求められる保健師活動」と題して講演をいただいた。市場原理の導入や市町村合併等の社会構造の変化により保健師の定員削減・分散配置が起り、保健師が孤立化してきていること。保健師活動が地域から中央に移行している実態から、これまで経験的にやってきた連絡・調整・企画に加え、今後は組織としての活動を重視していくことの大切さが示唆された。また、組織の中で上手く仕事を展開するコツとして、“稟議・根回し・情報収集・円滑なコミュニケーション”が重要であると話された。最後に保健師への期待として「職場を変える・地域の核となる・自分を磨き続ける」ことが伝えられ、参加者からは「明日への活力に繋がった」との声がたくさん寄せられた。

### ◆シンポジウム

「公衆衛生活動を実践するための保健師活動」をテーマとして、石川県石川中央保健福祉センターの相木直美氏を座長に、3人のシンポジストが今後の保健活動で必要とされている活動実践を紹介した。静岡県藤枝市健康推進課の松野京子氏は健康づくりの視点を全庁的事業に組み込む一方でソーシャルキャピタルによる活動の実際を、大阪市健康局の朽木悦子氏は大阪市の総括保健師として実践している人材育成の視点を重視した保健師活動の体制整備について、北海道保健福祉部の岩本泉氏は道全体を網羅した児童虐待予防に向けた地域連携システムの構築と事業展開について報告された。いずれも“今後の保健活動のあり方”を実践されたもので、大変参考になった。

#### ◆総会議事

総会は、136名の代議員出席と107名の委任状により、規定代議員数の2分の1以上で成立した。議事では、まず第1～6号議案により平成23年度から25年度に至る事業及び収支決算報告、補正予算及び活動方針等が報告され承認された。24年度東日本大震災支援活動では、被災地の保健師支援や住民の健康調査などが経過報告され、25年度の活動テーマとして、「社会の課題に向き合う保健師活動の展開」、サブテーマに“～公衆衛生看護活動の原点に立ち返り、命と健康と生活を守る活動を目指し～”を掲げ、1. 保健師の地域保健福祉分野における専門性を確立する 2. ブロック、支部活動の強化 3. 息の長い被災地支援を実施 4. 会員数の拡大の4点を活動方針とした。

続いて、第7号議案の平成25年度予算案では、事業費として、関連会議等の増加に伴う渉外費の増額や被災地支援経費が新たに計上され、第8号議案では副会長を3名とする規約改正が提案されて、いずれも承認された。

役員等の改選では、副会長に青柳玲子氏（現副会長）、新たに副会長として朽木悦子氏（現常任理事）、幹事に山田邦子氏の他、3名の推薦委員候補者が満場一致で選出され、選挙で承認された。

引き続き、平成24年度の各ブロック・部会・委員会からの事業経過報告があり、最後に、会長による常任理事の指名、新旧役員の紹介を経て、議事はすべて終了した。

最後に、次期開催県である鳥取県の長谷川ゆかり支部長の挨拶をいただき、総会は無事終了した。